

**新東名高速道路
静岡県区間(御殿場JCT～三ヶ日JCT)
開通から5年を迎えました！**

**2017年4月19日
中日本高速道路(株)**

1. 路線特性及び概要
2. 日本経済への貢献
3. 地域経済への貢献
4. 安心・快適な高速道路空間のために
5. ダブルネットワークの効果
6. 防災への取組み・地域医療への貢献
7. SA・PAも進化

1. 路線特性及び概要

- **2012年4月14日**に静岡県区間(御殿場JCT～三ヶ日JCT)の約162km※が開通。
- 御殿場JCT～三ヶ日JCTの約162km※はこれまでに開通した日本の高速道路のうち、**一度の開通延長が最も長い**。
※いなさ連絡路(三ヶ日JCT～浜松いなさJCT)約13kmと清水連絡路(清水JCT～新清水JCT)約4kmを含む。
- 新東名は、最少平面線形3,000m、最急縦断勾配2.0%と、**道路線形が緩やか**。
- 休憩施設は、新東名ならではの商業施設として「**NEOPASA(ネオパーサ)**」をオープン(駿河湾沼津SA、清水PA、静岡SA、浜松SA)。各エリアに地域特性や地場産品を考慮したコンセプト・特徴を持たせ、お客さまのニーズやシーンに合わせて必要とされるサービスを路線全体から選んでいただける目的地となるエリアづくりを行った。
- **2016年2月**に愛知県区間(浜松いなさJCT～豊田東JCT)の約55kmが開通し、**約200kmのダブルネットワークを形成**。
- 今後は、神奈川県区間(海老名南JCT～御殿場JCT)の約53kmの開通により、**日本の大動脈の更なる連携強化を目指す**。

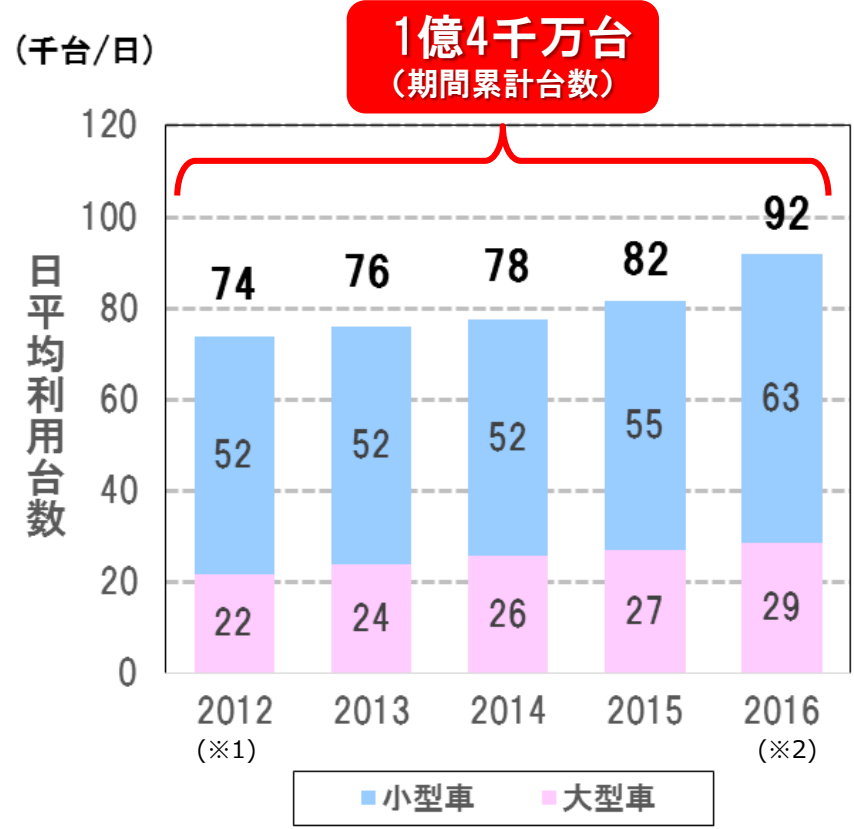


2. 日本経済への貢献① 多くのお客さまにご利用いただいております

- 新東名のご利用台数は、年々増加しており、開通後の約5年間(※)で、**約1億4千万台**のお客さまが新東名をご利用。
- 新東名・東名は、東海道新幹線よりも多くのお客さまにご利用いただいている。

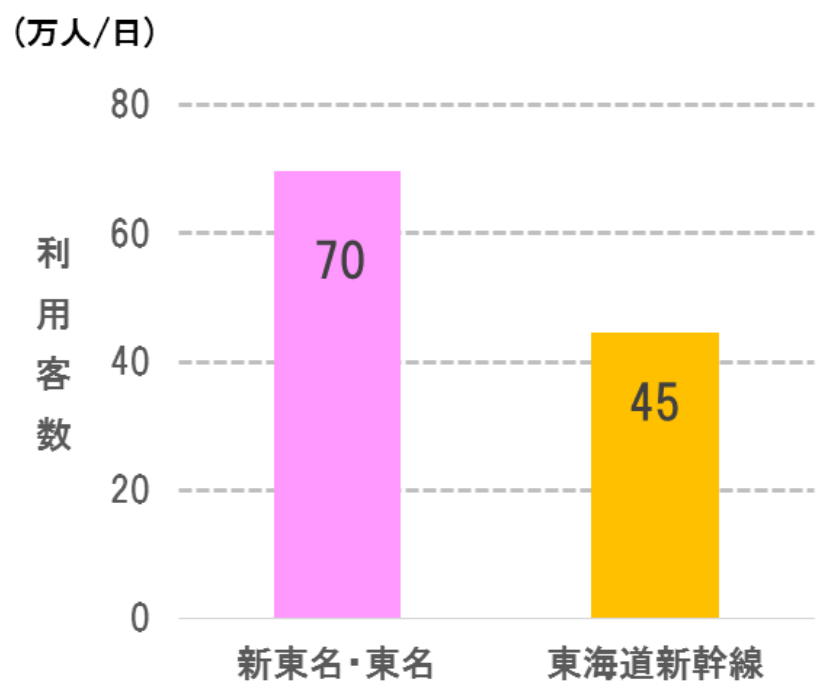
※2012年4月14日(土)～2017年1月31日(火)の約5年間

■ 新東名利用台数の推移



出典 : 高速道路利用データ (年度別日平均利用台数)
 ※1 2012年4月14日(土)～2013年3月31日(日)
 ※2 2016年4月1日(金)～2017年1月31日(火)

■ 各種移動手段における利用客数比較



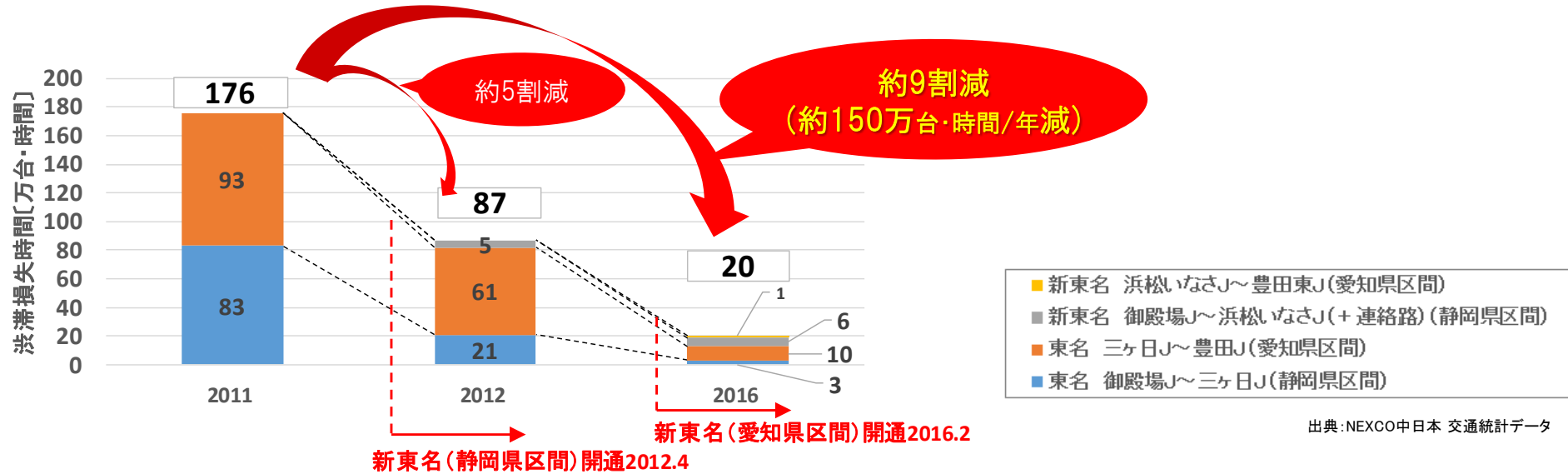
出典 : 新東名・東名 高速道路利用データ (2015年度)
 新東名(御殿場JCT～豊田JCT間)及び東名(東京～小牧間)のICの利用台数に
 平均輸送人数(平成22年度 全国道路・街路交通情勢調査)を乗じたもの
 東海道新幹線 乗車人員(東京～新大阪) (2015年度)
 国土交通省「鉄道輸送統計(2015年度分)」の値を365で割ったもの

2. 日本経済への貢献② 渋滞緩和により物流効率が向上します

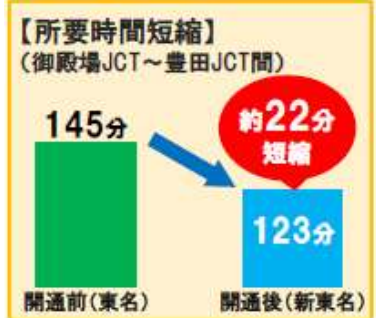


- 新東名(御殿場JCT～豊田JCT)の渋滞損失時間が約9割(約150万台・時間/年)減少。
- 渋滞の減少により定時性が向上し、御殿場JCT～豊田JCT間の所要時間が約22分短縮。

■ 御殿場JCT～豊田JCTの渋滞損失時間の経年推移



■ 御殿場JCT～豊田JCTの所要時間の短縮



■ 御殿場JCT～豊田JCT間の新東名・東名ルート



※出典 所要時間: 民間プローブデータ(昼間12時間: 7時～19時)
 開通前(東名): 2011.2.13(日)～2011.11.30(水)における291日
 開通後(新東名): 2016.2.14(日)～2016.11.30(水)における291日間
 ※平日、休日を含む上下平均
 ※新東名(愛知県)開通効果検討会議 調べ

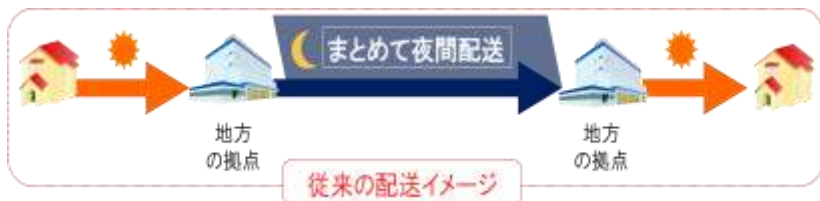
2. 日本経済への貢献③ 物流効率化への寄与

- 運送会社による大型物流ターミナルの開設が進められ、**三大都市間の多頻度幹線輸送に寄与**。
- 安定した運行の実現と所要時間の短縮により、運送ドライバーへの**身体的・精神的な負荷が軽減**され、安全で円滑な運行に寄与。

【新東名開通後の運送会社の声】



- ・東名・新東名の2ルート道路状況に応じて柔軟に使い分けが可能になることで、当日便ダイヤの設定がしやすくなる。
- ・新東名の方が、東名より運転しやすく乗務員の疲労軽減に役立つ。
- ・直線的なルート構成、UP・DOWNの緩やかさから運行時間短縮と燃費向上が認められたため、東名での運行から新東名へのルート切り替えを進めた。



2. 日本経済への貢献④ 物流効率化に向けた新たな動き

NEXCO

- ダブル連結トラック実験(※)を2016年11月22日より新東名で開始

※ダブル連結トラック実験

深刻なドライバー不足が進行(約4割が50歳以上)しているトラック輸送の省人化を促進するため、物流会社からの提案や将来の自動運転・隊列走行も見据え、特車許可基準を緩和し、1台で通常的大型トラック2台分の輸送が可能な「ダブル連結トラック」の導入を図るもの

現在 通常的大型トラック (10tトラック)



約12m

今後 ダブル連結トラック：1台で2台分の輸送が可能



※写真は21m車両のもの

特車許可基準の車両長を緩和
(現行の21mから最大で25mへの緩和を検討)



実験で走行中のダブル連結トラック

3. 地域経済への貢献

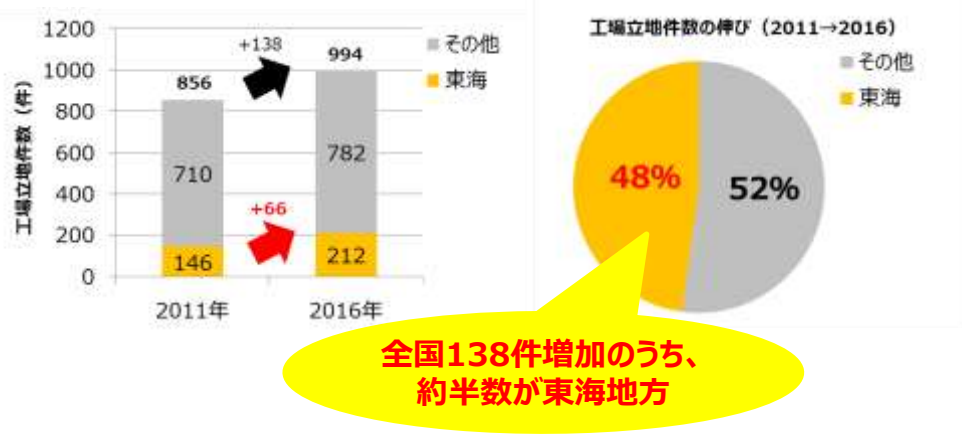


- 静岡県の工場立地※1件数が約2倍に増加(全国第1位)し、愛知県を含む東海地方が全国の増加件数の約半数を占める。
- 静岡県の沿線自治体の法人税の伸び率は、全国平均の約1.3倍。

■ 都道府県別工場立地※1件数の変化



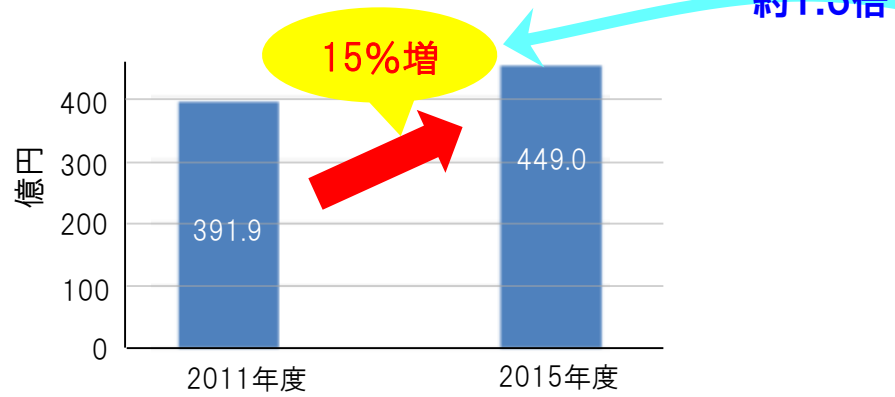
■ 地域別工場立地※1件数の変化



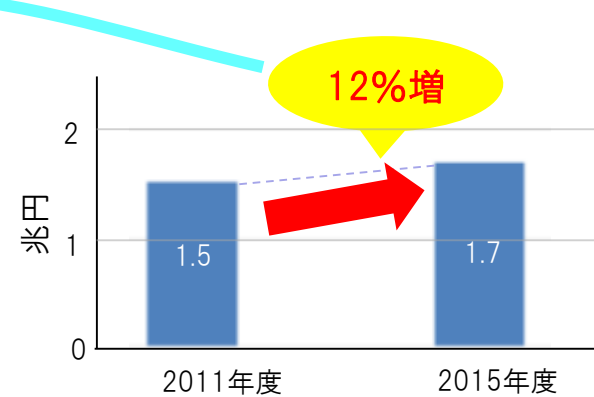
全国138件増加のうち、約半数が東海地方

※1: 製造業、電気業(水力発電所、地熱発電所、太陽光発電所を除く。)、ガス業及び熱供給業のための工場又は事業場を建設する目的をもって取得(借地を含む。)された1,000㎡以上の用地(埋立予定地を含む。) 出典: 経済産業省 平成28年(1月~12月期)における工場立地動向調査について(速報)平成29年3月

■ 静岡県の沿線自治体※2の法人税※3の推移



■ 全国の法人税※2の推移



※2: 御殿場市、裾野市、長泉町、沼津市、富士市、富士宮市、静岡市、藤枝市、島田市、掛川市、森町、磐田市、浜松市 ※3: 地方税のうち、市町村民税法人税を集計 出典: 総務省 地方財政状況調査

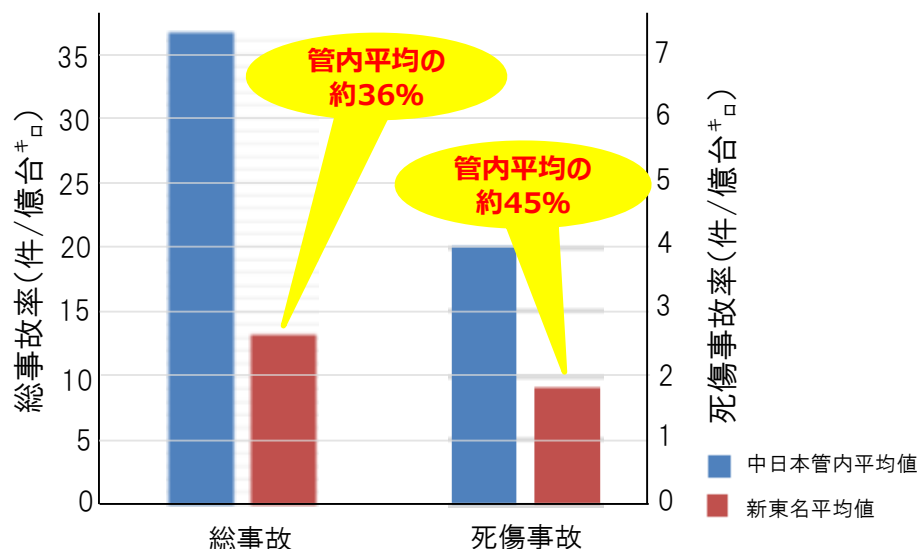
4. 安心・快適な高速道路空間のために

- 新東名の道路構造は、**緩やかな構造**(カーブ、勾配)とすることで安全な走行性を確保。
- 新東名の総事故率及び死傷事故率は、弊社管内平均値と比較し**共に半数以下**。
- 走行環境の良さや走行時の疲労軽減といった新東名の快適性に関するお褒めの声も多数あり。

■ 新東名と東名の道路構造の違い -新東名は東名に比べて、緩やかな構造(カーブ、勾配)



■ 新東名の事故率 (2015年)



■ 新東名開通後にお客さまから頂いた言葉 (要約)

- 線形が緩やかでアップダウンが少なく走りやすい、海外のハイウェイのようである。
- 運行時間の短縮と燃費の向上が図られることから、東名から新東名に経路を変更した。運転ストレスも軽減された。
- 現東名の渋滞が大幅に軽減され、疲労軽減につながっている。

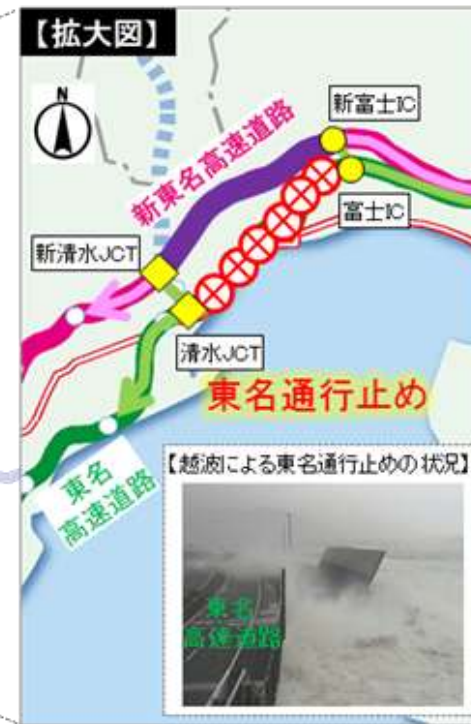
5. ダブルネットワークの効果① リダンダンシーの発揮



- 新東名の開通により、御殿場JCT～豊田東JCTの通行止めが、年間39回※1から平均1回/年※2程度に減少。
- ダブルネットワークの形成により、日本の大動脈の分断が大幅に減少。
- 例えば、静岡由比地区の越波による東名通行止め時には新東名に迂回していただくことで交通を確保。

※1:2011年度の東名(御殿場JCT～豊田東JCT)での通行止め回数

※2:2012年度～2016年度の東名及び新東名を同時に通行止めした年間平均回数



※新東名(愛知県)開通効果検討会議 2017年2月10日記者発表資料より一部引用

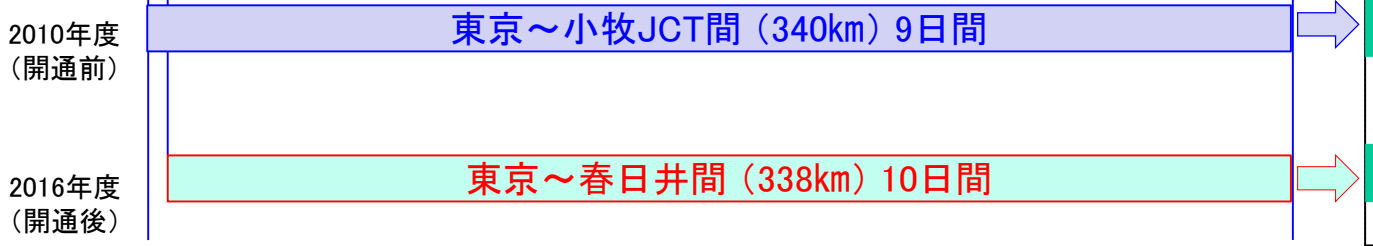
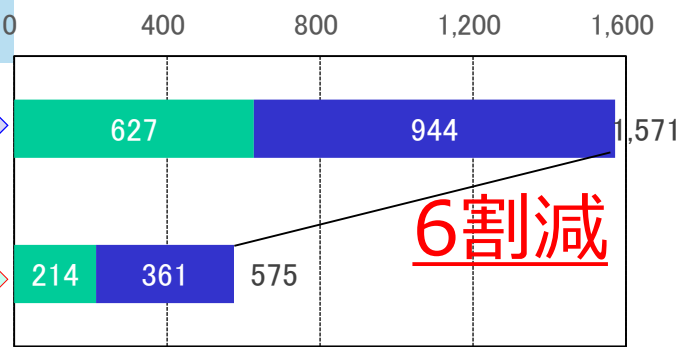
5. ダブルネットワークの効果②

- ダブルネットワークの形成により、**お客様のルート選択が可能**となった。
- 東名集中工事期間中には、新東名に迂回いただいたことで工事による渋滞への影響を軽減。**日平均渋滞量は大幅(約6割)に減少**。
- 開通後40年以上経過する東名高速道路では、引き続き東名集中工事やリニューアル工事を行う予定であるが、**新東名を活用した迂回推奨や交通運用を行い**、お客様への影響の最小限化を目指す。



集中工事期間中の日平均渋滞量 (km・h)

■ 東京～豊川 ■ 豊川～小牧JCT



6. 防災への取組み・地域医療への貢献

- 東日本大震災で高速道路の休憩施設が広域応援部隊等の進出拠点として活用された事例を踏まえ、2015年3月、静岡県と防災協定を締結し、休憩施設における応援部隊活動、高速道路利用者などの避難対策を強化。
- ドクターヘリの東名・新東名への着陸回数は、運用開始から開通まで(2000.12.5～2012.4.13)は平均約5件/年だったのに対し、開通後(2012.4.14～2017.3.31)は平均約15件/年となり、地域医療に貢献。

■ 南海トラフ地震における緊急輸送ルート、防災拠点

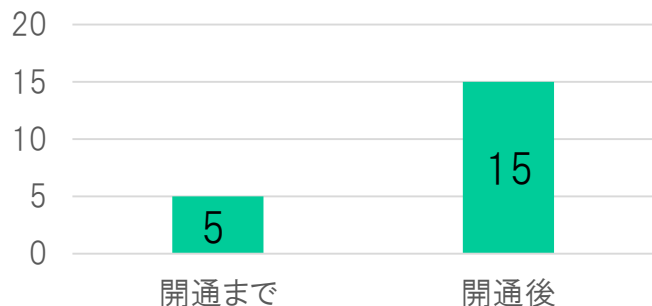


- 防災トピック
 静岡県および関係市町が開催する浜岡原子力発電所を対象とした防災訓練※を浜松SAで実施



■ 地域医療への貢献

ドクターヘリの着陸回数



※NEXCO中日本調べ



※2017.2.10浜松SA（下り）において静岡県原子力防災訓練開催

7. SA・PAも進化① より多くのお客さまにご利用いただいております

■新東名では、多様なニーズのお客さまが快適にご利用いただけるよう新たなコンセプトの商業施設『NEOPASA(ネオパーサ)』を展開しています。

■『NEOPASA』では、広いフードコート・余裕のある通路などゆとりのあるエリアとし、また、長距離ドライバー向け施設の充実、ドッグランの標準配置、衣料・雑貨などの新業態店舗の配置などにより、開通後5年間の累計で**1億3千万人(※)**という多くのお客さまにご利用いただいております。

※NEOPASA7店舗(駿河湾沼津^上_下、清水、静岡^上_下、浜松^上_下)における5年間の延入館者数

■5年間にご利用いただいたお客さまの数といただいたお褒めの言葉

■NEOPASAロゴマーク

入館者数(累計:万人)



入館者数はNEOPASA7エリアの1エリアの平均で年間380万人。これは並行する東名エリアの平均180万人(※)の**2.2倍**となっている。

※富士川^上_下、牧之原^上_下の3エリア平均



均

■お客さまから頂いたお褒めの言葉

- とてもキレイで子供が少し遊べる場所がありとても快適だった。
- 一般道側から出入りができ、気軽に買い物ができるよかった。
- 清掃が行き届いていてきれい。
- また来たい

など

■お客さまの多様なニーズに合わせたエリアづくり

駿河湾を一望できる眺望
を生かしたくつろぎの空間



NEOPASA駿河湾沼津(上り線)

ペット連れのお客さまにも
快適なひとときを



ドッグラン



お子さま向け遊具を配
した園地

長距離ドライバーにも
優しいエリア機能



7. SA・PAも進化② 地域の顔となるエリアを目指しています

・地域性のある店舗・メニューでお客さまをお迎えするとともに、地域の魅力を発信するイベントを積極的に開催しています。
(2016年度実績121回開催)

■ 地域の特徴を生かした店舗とメニュー

楽器の街『浜松』らしく、『音のある風景』をコンセプトとしたNEOPASA浜松では、建物の外観まで地域特性を生かしています。

遠州森町PA(上り)では地元静岡の有名そば処の出店、NEOPASA静岡(下り)では駿河湾産の桜海老やしらすをはじめとした海の幸を堪能できる「漁師丼」などを提供。



■ 農匠マーケット

農業経営士・青年農業士として自治体より認定された地域農業者が、直接、農産物や食肉加工品を販売する「農匠マーケット」を整備して地域の活性化をはかるとともにブランド力の向上を図っています。



■ イベントスペースを活用したイベントの実施

NEOPASA浜松では、浜松市文化振興財団と連携し、エリア周辺にお住まいのミュージシャンや地元学生の吹奏楽部によるミニコンサートを週末に定期開催 (5年間で300日以上開催)。

その他、NEOPASA静岡における「ジュニア太鼓フェスティバル」など地域活性化の一助を担うイベントを開催しています。



7. SA・PAも進化③ 地域の皆さまにもご利用いただいております



- エリア近隣の地域の皆さまにもご利用していただくため、新東名のすべての休憩施設には一般道側からのご利用いただける『ぷらっとパーク』を整備しています。『ぷらっとパーク』からのご利用は、開通後5年間の累計で**650万人**(※1)となりました。
 - エリア周辺地域サポート事業として、藤枝PA(下り)を拠点とした買い物支援サービスを実施。
 - 新東名の休憩施設全体では、**1400人**(※2)の方がエリアスタッフとして働いており、地域の雇用創出に貢献しています。
- ※1 NEOPASA 5店舗(駿河湾沼津^上_下、清水、静岡^上_下)におけるぷらっとパーク側入口からの5年間の延入館者数
 ※2 新東名静岡区間の休憩施設における2017年4月現在のテナント従業員(パート、アルバイト含む)の総数

■ サービスエリアの外部解放

エリア周辺地域のお客さまにもサービスエリアをご利用いただけるように、一般道側からの入口である「ぷらっとパーク」を整備。新東名の休憩施設では、NEOPASA駿河湾沼津(上り)の**126台**など多くの駐車スペースを確保。

■ 買い物支援サービス

藤枝PA(下り)のテナント(株)ファミリーマートがサービスを展開(2015年7月～)。エリア周辺で日常の買い物が不便な地域(4ヶ所)を移動販売車で回り、食料や日用品などを販売。

